

横浜市社会福祉センター

利用料値上げやめよ

市議会議員
白井

センターの目的から、
利用料金が見直される
ときは市民にプラスに
ならないといけないと

指摘。「公の市民利用施設で受益者負担を用いること自体、公平といえず、社会福祉と受益者負担とは、相いれないものです」と訴えました。

また、白井議員は、見直す対象として、数ある市民利用施設のなから、障害者や福祉

分野の団体がよく使う同センターを選んだことについて、「あまりにも福祉の心が欠けたやり方です」と批判しました。

同条例の一部改定は、自民、民主、公明、みんなの各党などの賛成多数で可決されました。

21日に開かれた横浜市議会定例会の議案討論で、日本共産党の白井正子議員は市社会福祉センターの利用料金を見直す条例の一部改定について反対しました。

市の見直しは、同センターについて、これまで無料だった軽運動室に利用料金制を導入し、300人規模のホールと会議室の利用料金を1・5倍まで引き上げるものです。

白井議員は、福祉の意識を高め、福祉活動の推進を図るといふ同